

日本赤ちゃん学会 第17回学術集会

The 17th Annual Meeting of The Japanese Society of Baby Science

プログラム抄録集

「あかちゃん ～発達のなかの自律と共調」

会 長 山下 裕史朗
(久留米大学医学部小児科学講座 主任教授)

会 期 2017年7月8日(土)～9日(日)

会 場 久留米シティプラザ

プレコンGRES 2017年7月7日(金)

日本赤ちゃん学会第17回学術集会実行委員会

ご 挨 拶

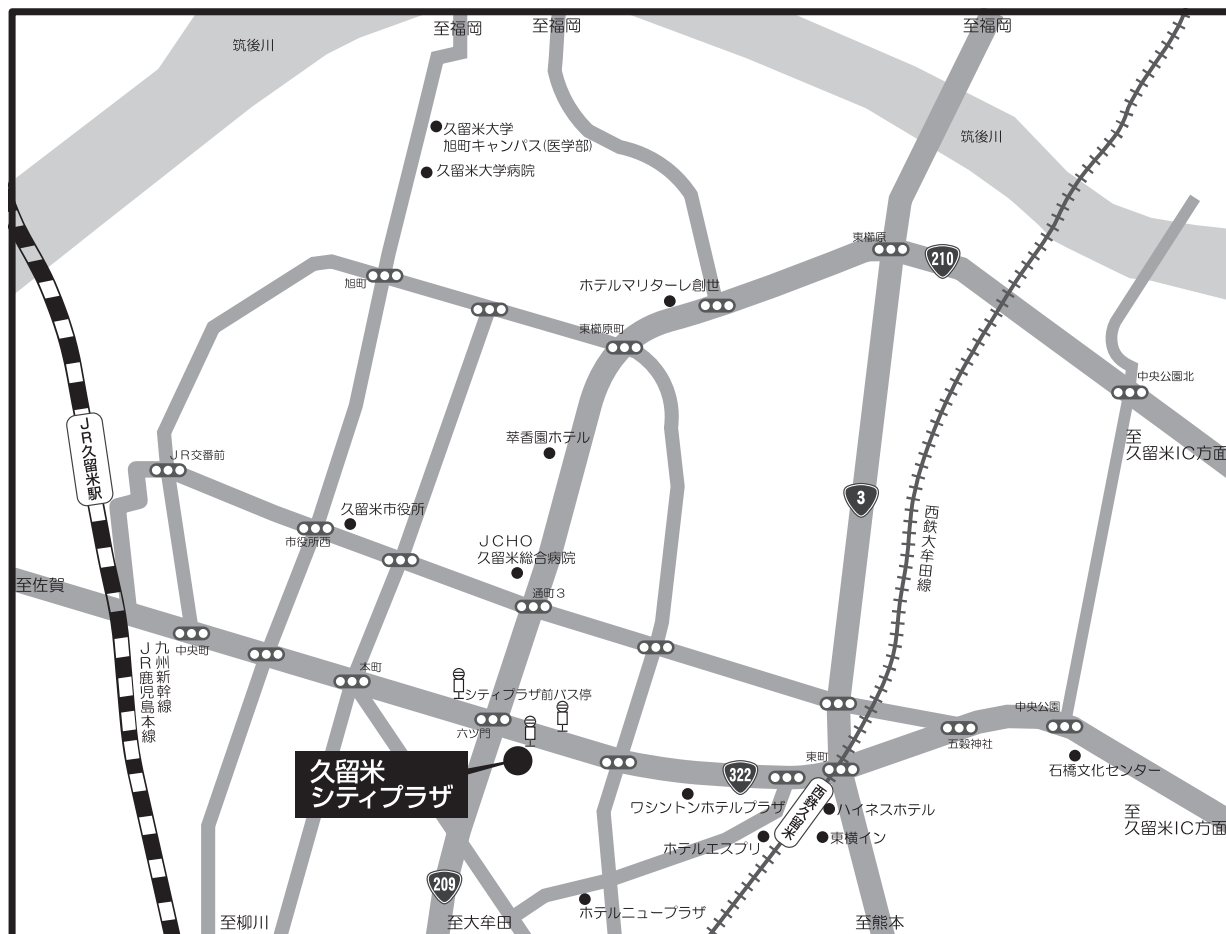
久留米大学医学部 小児科学講座
山下 裕史朗

このたび、日本赤ちゃん学会第17回学術集会を2017年7月7－9日に久留米シティプラザで開催させていただくことになりました。九州での開催は、2013年第13回福岡市での開催から4年ぶりです。新しくオープンした久留米シティプラザの久留米座をメイン会場として、久留米の魅力を体験していただけるよう「ほとめき（筑後弁で『おもてなし』の意味）の心」で皆様をお迎えします。

テーマを「赤ちゃん和妈妈～発達のなかの自律と共調」としました。1日目の招待講演は、カリフォルニア大学サンディエゴ校名誉教授でのStein教授にOptimizing developmental outcomes of children with typical and atypical developmental trajectoriesというタイトルでご講演いただきます。続いて発達障害の起点と修復過程から見た機能的回復を促すケアへの提言」と「生体リズム・睡眠・脳機能獲得過程解明の最前線」の2シンポジウム、59演題のポスター発表は、久留米の食と地酒を楽しみながら、2グループに時間を分けてディスカッションする予定です。2日目は、7つの興味深いラウンドテーブルと午後の市民公開講座では「アタッチメントと子育て」について、友田明美先生と遠藤利彦先生に話していただきます。

久留米は豚骨ラーメン発祥の地、焼き鳥などのB級グルメで有名な町でもあります。ブリヂストンの創業者石橋正二郎、東芝の創業者田中久重（からくり儀右衛門）や青木繁、坂本繁二郎らの偉人、芸術家が育った土地です。松田聖子、チェッカーズ、最近では、田中麗奈（くるめふるさと特別大使）、吉田羊、家入レオなどの芸能人を多数輩出しています。久留米シティプラザは市内中心部にあり、7月8日は土曜夜市でにぎわいます。ポスター発表後に商店街の夜店、路地裏探検や文化街で久留米の夜を楽しんでいただければ幸いです。

会場アクセス



久留米シティプラザ

〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町 8-1

TEL 0942-36-3000 FAX 0942-36-3087

- 高速バスで福岡空港から「六ツ門・シティプラザ前」バス停まで約 50 分
- 新幹線で JR 博多駅から JR 久留米駅まで約 17 分
- 西鉄電車で西鉄福岡（天神）駅から西鉄久留米駅まで約 30 分
- 西鉄久留米駅からタクシー約 4 分、路線バス約 5 分、徒歩約 10 分
- JR 鹿児島本線で JR 博多駅から JR 久留米駅まで約 35 分
- JR 久留米駅からタクシー約 7 分、路線バス約 10 分、徒歩約 20 分
- 自動車です留米 I.C. から約 15 分
- 地下駐車場あり（114 台）

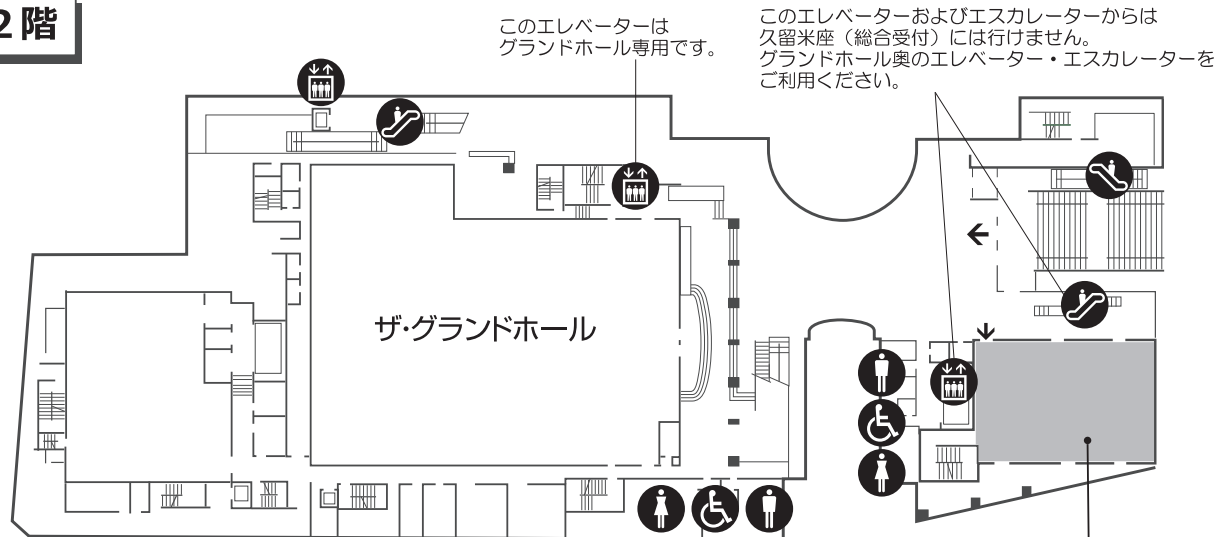
※最初の 1 時間は 200 円 以後 30 分ごとに 100 円

（4 時間以上 12 時間以内 800 円。12 時間以降は 1 時間ごとに 100 円）

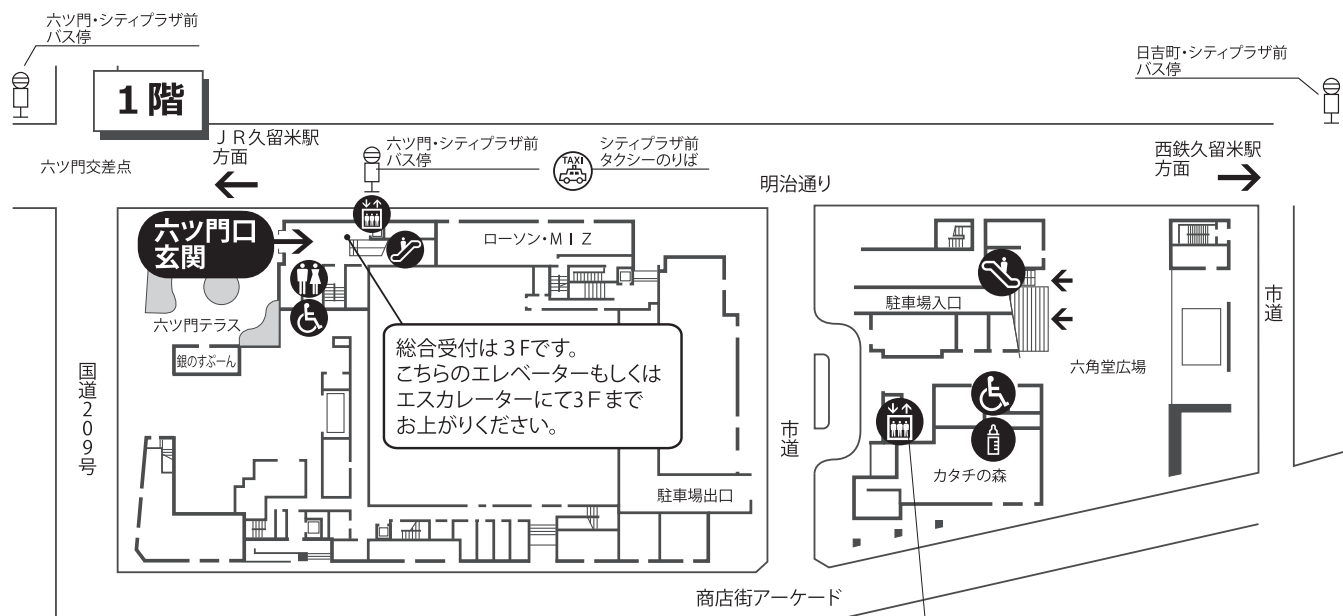
近隣の駐車場は『くるっパナビ』（<http://www.parkinfo.kurume.jp.net>）
をご参照ください

会場案内図

2階



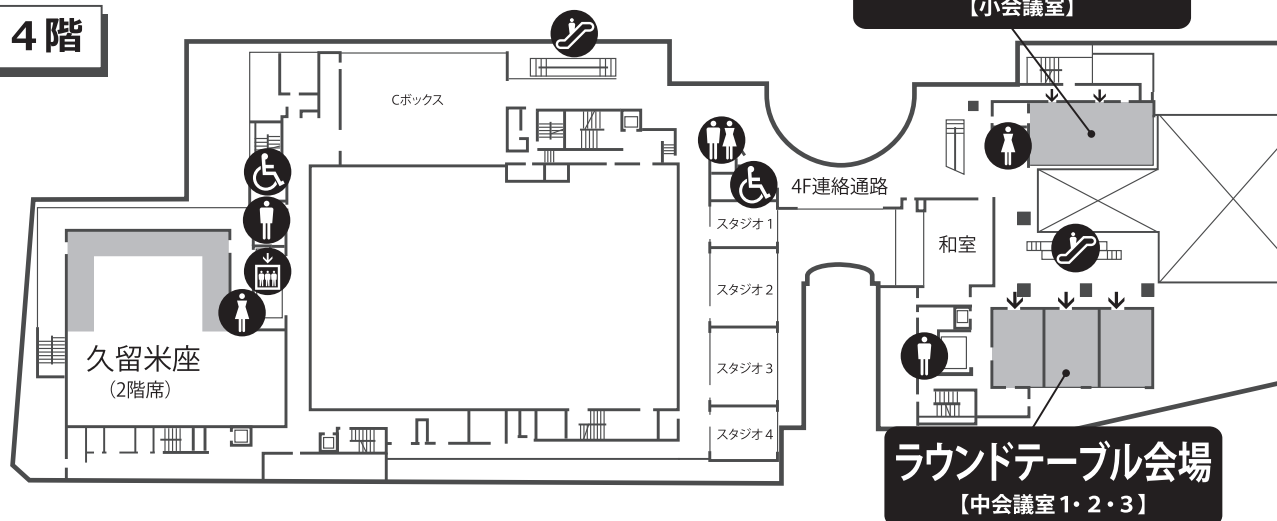
1階



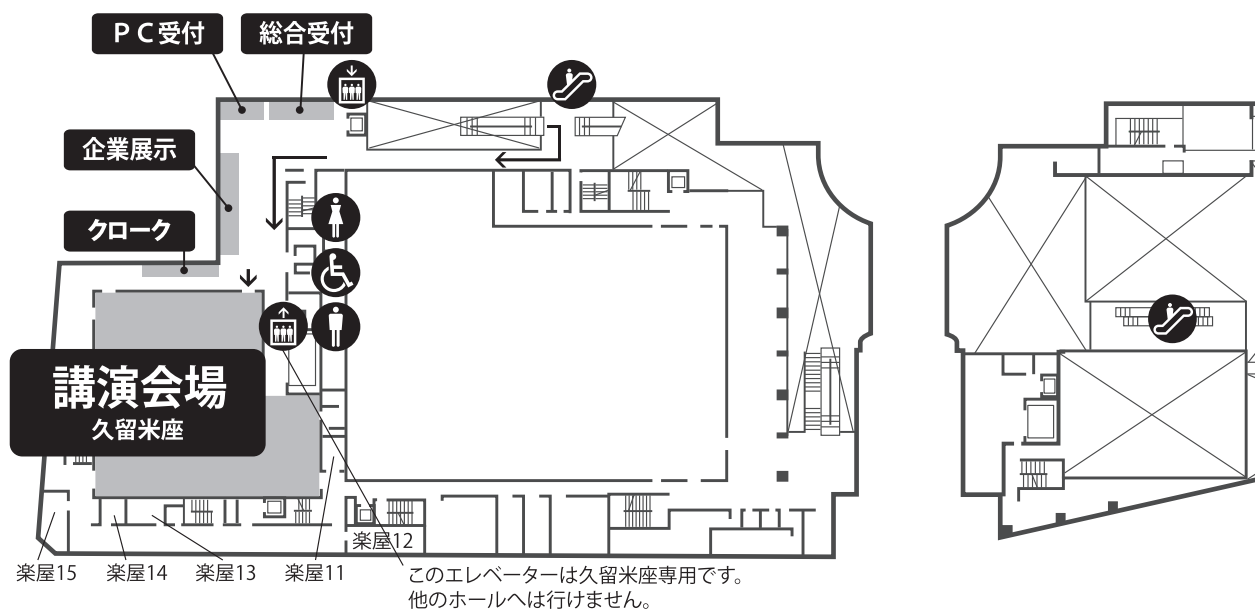
このエレベーターからは久留米座（総合受付）
には行けません。
六ツ門口側のエレベーター・エスカレーターを
ご利用ください。

会場案内図

4 階



3 階



大会参加者へのご案内

1. 受付のご案内

●プレコンGRES

開始日時：7月7日(金) 17:30～ (受付 17:00～)

場 所：久留米シティプラザ 3階 久留米座 (受付は久留米座ロビー)

※当日の参加申込になります。受付で必要事項を記帳してください。

●学術集会

開始日時：7月8日(土) 10:00～ (受付 9:00～)

7月9日(日) 9:00～ (受付 8:30～)

場 所：久留米シティプラザ 3階 久留米座 (受付は久留米座ロビー)

参 加 費：参加費(会員・非会員共に)／5,000円

ポスター発表及び交流会参加費(軽食付き)／1,000円

参加費(学生・初期研修医)／3,000円

- ・受付前テーブルに置いてあります「参加申込書」にご記入の上、参加受付までお越しください。参加費をお支払いいただき、ネームカード・抄録集・領収書をお渡しいたします。

- ・ポスター発表にご参加の方は1,000円のお申し込みを受け付けます。

(交流会参加費込み)

※大会期間中は、会場内ではネームカード(2日間共通)を身に付けてください。

●ポスター発表&交流会(軽食付き)

日 時：7月8日(土) 17:00～19:00

会 場：久留米シティプラザ 2階 展示室

参 加 費：1,000円

- ・受付にてお申し込みください(随時、受け付けております。)
- ・軽食をご準備しております。ポスターを囲んで交流を深めて下さい。
- ・久留米そろばん踊りを実演して頂きます。お楽しみに。

●クローク

日 時：7月8日(土) 9:00～17:00 (できるだけ交流会前にお受取り下さい)

7月9日(日) 8:30～16:00

場 所：久留米シティプラザ 3階 久留米座ロビー

※貴重品・割れ物・傘のお預かりできません。ご自身の責任で管理してください。

2. 座長・発表者へのご案内

●座長へのご案内

担当セッション開始10分前までに次座長席にご着席ください。

●演者へのご案内（口演）

- ・全ての発表はPC プロジェクターで行います。PC 本体または USB メモリによりデータをご持参ください。
- ・スライド枚数に制限はありませんが、発表時間内に終了するようご配慮ください。
- ・スライドのサイズは「4：3」で作成してください。
- ・発表者ツールの使用は出来ません。
- ・発表の30分前までに、PC 受付（久留米シティプラザ 4階 久留米座ロビー）にてデータの登録・確認を行ってください。
- ・セッション開始10分前までに、会場内の次演者席にご着席ください。
- ・ご発表時は、舞台上にキーボードとマウス・ディスプレイがありますのでご自身で操作をお願いいたします。
- ・ご自身の PC で発表される方は、発表後に会場内 PC オペレーター席にて、PC をお受け取りください。

●演者へのご案内（ポスター）

【一般演題（ポスター）スケジュール】

発表者は久留米シティプラザ2F 展示室のポスター会場にて、下記時間内にポスター掲示を完了してください。

- ・ポスター会場：久留米シティプラザ 2階 展示室内
- ・貼付、掲示、討論、撤去時間：
ポスター貼付時間：7月8日(土) 9：00～13：00
ポスター掲示時間：7月8日(土) 13：00～17：00
ポスター討論時間：7月8日(土) 17：00～18：00（演題番号の奇数）
18：00～19：00（演題番号の偶数）
ポスター撤去時間：7月8日(土) 19：00～20：00
- ・発表形式について
 - 1) 発表者は、発表者用リボン（各ポスターパネルにご準備しております）をご着用の上、指定された時間帯に自分のポスターの前に立ち、自由に質疑応答を行ってください。今学会では座長による進行は行いません。
 - 2) ポスター会場には、演題ごとに掲示スペースを用意致します。掲示可能スペースは、縦1,600mm×横900mm です。
 - 3) 掲示スペースのうち、演題名（発表者名・所属を含む）を表示するスペースは、縦200mm×横700mm です。発表者はこのスペースに収まるサイズの演題名を各自でご用意ください。尚、演題番号は学会事務局にて用意致します。
 - 4) ポスター撤去時間を過ぎても引き取りのないポスターにつきましては、学会事務局にて処分いたします。
 - 5) 発表者用リボンと画鋏はパネルに取り付けておりますので、ご利用ください。
 - 6) ポスター会場には軽食、お飲物をご準備致しておりますので、懇親も深めて頂ければと存じます。

●ラウンドテーブル

日 時：7月9日(日) 9:00～12:10 (※各ラウンドテーブルの時間は日程表をご確認ください)

会 場：久留米シティプラザ 4階 中会議室・小会議室

・モデレーター、話題提供者、指定討論者の方々は、開始5分前には会場へお越しください。8:30から会場にてご準備が可能です。

3. 昼 食

久留米シティプラザ周辺の飲食店、コンビニエンスストアをご利用ください。案内マップをご準備しております。

4. 会場内での飲食について

久留米シティプラザ、久留米座内での飲食は禁止となっております。ロビー等をご利用下さい。

5. おむつ替え・授乳コーナー

託児所の設置はございませんが、講演会場内にお連れ頂いて大丈夫です。親子室もございます。

又、久留米シティプラザ内には親子室、多目的トイレ、授乳室があり、ご自由にご利用頂けます。詳しくは受付でご確認ください。

6. 展示・販売

関連機器・書籍などの展示と販売をおこなっております。ぜひお立ち寄りください。

日 時：7月8日(土)・9日(日)

会 場：久留米シティプラザ 3階 久留米座ロビー

理事会・評議員会・総会のご案内

●理 事 会

理事の方は万障お繰り合わせの上、ご出席ください。昼食は学会本部でご用意いたします。

日 時：7月8日(土) 12:30～13:15

会 場：久留米シティプラザ 4階 小会議室

●評議員会

評議員の方は万障お繰り合わせの上、ご出席ください。昼食は学会本部でご用意いたします。

日 時：7月9日(日) 12:15～13:00

会 場：久留米シティプラザ 4階 中会議室 3

●総 会

学会員の方は必ずご出席ください。

日 時：7月9日(日) 13:05～13:30

会 場：久留米シティプラザ 3階 久留米座

	講演会場 (3階・久留米座)	ポスター会場 (2階・展示場)	理事会会場 (4階・小会議室)
8:00			
9:00	受付開始		
10:00	開会式 会長講演 10:00～10:30 「生体リズム異常と発達障害」		
11:00	シンポジウム 10:30～12:00 「発達障害の起点と修復過程から見た 機能的回復を促すケアへの提言」	ポスター貼付 9:00～13:00	
12:00			
13:00	昼食休憩時間 12:00～13:30		理事会 12:30～13:15
14:00	招待講演 13:30～14:30 「子宮外環境への適応過程に見る あかちゃんの知られざる能力 ～健やかな発達を支援するために」		
15:00	メインシンポジウム 14:30～16:30 「生体リズム・睡眠・脳機能 獲得過程解明の最前線」	ポスター掲示 13:00～17:00	
16:00			
17:00	移動・休憩時間 16:30～17:00		
18:00		ポスター発表 17:00～19:00 17:00～18:00 (演題番号の奇数) 18:00～19:00 (演題番号の偶数)	
19:00			
20:00		ポスター撤去 19:00～20:00	

日程表 7月9日(日)

	講演会場 (3階・久留米座)	ラウンドテーブル会場 (4階・中会議室3)	ラウンドテーブル会場 (4階・中会議室1)	ラウンドテーブル会場 (4階・中会議室2)	ラウンドテーブル会場 (4階・小会議室)
8:00					
	受付開始				
9:00		ラウンドテーブル1 9:00～11:00	ラウンドテーブル2 9:00～10:30	ラウンドテーブル3 9:00～10:30	ラウンドテーブル4 9:00～10:30
10:00		「ポストトルース時代に赤ちゃん学はいかに振る舞うべきか？～赤ちゃん神話と向き合う～」	「未就学児の理想の発達評価～あかちゃんへの早期介入を何で評価するべきか？」	「ヒトの音楽性に迫る：その起源と発達についての多角的検討」	「乳児保育における赤ちゃんの情緒安定～保育士に求められる集团的感性とは～」
			移動	移動	移動
11:00			ラウンドテーブル5 10:40～12:10	ラウンドテーブル6 10:40～12:10	ラウンドテーブル7 10:40～12:10
12:00			「虐待とあかちゃん」	「子宮内環境と児の脳発達」	「異分野間の共調による社会貢献」
		評議員会 12:15～13:00			
13:00	総会 13:05～13:30				
14:00	市民公開講座 13:30～15:30				
15:00	「アタッチメント（愛着）と子育て」				
16:00	閉会式				

プログラム

●会長講演（7月8日（土）10:00～10:30 3階 久留米座）

「生体リズム異常と発達障害」

演 者：山下裕史朗（久留米大学医学部小児科学講座）

座 長：小西 行郎（同志社大学赤ちゃん学研究センター）

●招待講演（7月8日（土）13:30～14:30 3階 久留米座）

「子宮外環境への適応過程に見るあかちゃんの知られざる能力～健やかな発達を支援するために」

演 者：岩田 欧介（名古屋市立大学 新生児・小児科学分野／久留米大学 小児科学教室・高次脳疾患研究所）

座 長：山下裕史朗（久留米大学医学部小児科学講座）

【ご案内】 Martin T. Stein 先生がご病気の為、急遽来日できなくなりました事を受け、名古屋市立大学の岩田欧介先生に講演をお引き受け頂きました。

●メインシンポジウム（7月8日（土）14:30～16:30 3階 久留米座）

「生体リズム・睡眠・脳機能獲得過程解明の最前線」

座 長：諸隈 誠一（九州大学 環境発達医学研究センター）

木下 正啓（久留米大学医学部小児科学講座）

演 者：「胎児の生体リズム」

諸隈 誠一（九州大学 環境発達医学研究センター）

「新生児のサーカディアンリズムと影響因子：唾液中コルチゾールを用いた検討」

岡村 尚昌（久留米大学高次脳疾患研究所）

「概日リズムの発生」

八木田和弘（京都府立医科大学大学院医学研究科 統合生理学）

「発達障害から見た睡眠障害の治療アプローチ」

中川 栄二（国立精神・神経医療研究センター病院 小児神経科）

●シンポジウム（7月8日（土）10:30～12:00 3階 久留米座）

「発達障害の起点と修復過程から見た機能的回復を促すケアへの提言」

座 長：大村 吉幸（東京大学 情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻）

岩田 欧介（名古屋市立大学小児科）

演 者：「発達理解のための工学的視点について」

大村 吉幸（東京大学 情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻）

「ハイリスク新生児の脳発育の特性と課題」

木下 正啓（久留米大学医学部小児科学講座）

「幹細胞から見た脳損傷と治療」

辻 雅弘（国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 再生医療部）

「自他感情推定過程とその障害のモデル」

乾 敏郎（追手門学院大学心理学部）

●市民公開講座（7月9日(日) 13:30～15:30 3階 久留米座）

「アタッチメント（愛着）と子育て」

座 長：小西 行郎（同志社大学赤ちゃん学研究センター）

山下裕史朗（久留米大学医学部小児科学講座）

演 者：「アタッチメント（愛着）と子どもの発達 ～よりよい子育てのために～」

友田 明美（福井大学子どものこころの発達研究センター）

「自己と社会性の揺籃としてのアタッチメント」

遠藤 利彦（東京大学・大学院教育学研究科）

●ラウンドテーブル

ラウンドテーブル1（7月9日(日) 9:00～11:00 4階 中会議室3）

「ポストトルウス時代に赤ちゃん学はいかに振る舞うべきか？
～赤ちゃん神話と向き合う～」

モデレーター：赤ちゃん学会若手部会（所属：赤ちゃん学会）

金沢 星慶（東京大学 情報理工学系研究科）

高橋 英之（大阪大学大学院 基礎工学研究科）

話題提供者：開 一夫（東京大学 総合文化研究科）

岩田 欧介（名古屋市立大学 医学研究科）

長倉 克枝（科学記者）

菅 文美（ユニ・チャーム株式会社 共生社会研究所）

篠原 郁子（国立教育政策研究所）

林 美里（京都大学霊長類研究所 思考言語分野）

指定討論者：榊原 洋一（お茶の水女子大学名誉教授）

ラウンドテーブル2（7月9日(日) 9:00～10:30 4階 中会議室1）

「未就学児の理想の発達評価

～あかちゃんへの早期介入を何で評価するべきか？」

モデレーター・話題提供者：黒田 美保（広島修道大学 健康科学部）

話題提供者：田中 恭子（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
こころの診療部 児童・思春期リエゾン診療科）

ハツ賀千穂（独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター）

平田 正吾（茨城キリスト教大学 文学部）

ラウンドテーブル3（7月9日(日) 9:00～10:30 4階 中会議室2）

「ヒトの音楽性に迫る：その起源と発達についての多角的検討」

モデレーター：今川 恭子（聖心女子大学）

話題提供者：関 義正（愛知大学 文学部）

香田 啓貴（京都大学 霊長類研究所）

高田 明（京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科）

指定討論者：橋彌 和秀（九州大学）

富士 直斗（九州大学大学院 研究生）

ラウンドテーブル4（7月9日(日) 9:00～10:30 4階 小会議室）

「乳児保育における赤ちゃんの情緒安定

～保育士に求められる集団的感性とは～」

モデレーター：小川 勝利（社会福祉法人いるま保育会 いるま保育園）

話題提供者：川辺 真純（社会福祉法人風の遊育舎 横浜六ツ川保育園）

久保沙由美（社会福祉法人いるま保育会 新宿いるま保育園）

見上 玲子（社会福祉法人いるま保育会 新宿いるま保育園）

安藤 佳広（社会福祉法人省我会 新宿せいが子ども園）

指定討論者：藤森 平司（保育環境研究所ギビングツリー）

ラウンドテーブル5（7月9日(日) 10:40～12:10 4階 中会議室1）

「虐待とあかちゃん」

モデレーター・話題提供者：友田 明美（福井大学子どものこころの発達研究センター）

話題提供者：八坂 知美（福岡県済生会福岡総合病院 小児科）

酒井さやか（飯塚病院 小児科）

重永 侑紀（特定非営利活動法人にじいろCAP）

ラウンドテーブル6（7月9日（日） 10:40～12:10 4階 中会議室2）

「子宮内環境と児の脳発達」

モデレーター・話題提供者：福田 敦夫（浜松医科大学 神経生理学講座）

話題提供者：河合 智子（国立成育医療研究センター研究所 周産期病態研究部）

荒田 晶子（兵庫医科大学 生理学・生体機能部門）

川西 康之（同志社大学 赤ちゃん学研究センター）

諸隈 誠一（九州大学 環境発達医学研究センター）

ラウンドテーブル7（7月9日（日） 10:40～12:10 4階 小会議室）

「異分野間の共調による社会貢献」

モデレーター：楢崎 雅（社会福祉法人摩耶福祉会 るんびに保育園・保育環境研究所ギビングツリー）

話題提供者：相山 慈（社会福祉法人花の村 認定こども園 あさりこども園・保育環境研究所ギビングツリー）

豊田 亮（社会福祉法人城山福祉会 幼保連携型認定こども園 城山保育園・保育環境研究所ギビングツリー）

原田 真弓（社会福祉法人しらゆき福祉会 幼保連携型認定こども園 しらゆきこども園 子ども・子育て支援センターしらゆき 保育環境研究所ギビングツリー）

田崎 睦之（社会福祉法人琴北保育会 形上保育園・保育環境研究所ギビングツリー）

豊田 泉（学校法人しろやま学園 幼保連携型こども園 城山幼稚園・保育環境研究所ギビングツリー）

●一般演題（ポスター）

- P-01** 「トイレトレーニングの進行に関する大規模実態調査（1）－トイレトレーニングが上手くいく・いかないのはなぜ？」
成戸 洋介（京都大学大学院教育学研究科）
- P-02** 「幼児期のトイレトレーニングを促進する機能をもつアプリケーションの開発」
松永 倫子（京都大学大学院教育学研究科）
- P-03** 「赤ちゃん中心設計支援システムの開発（第二報）～3次元幼児・児童モデルの構築および製品使用時姿勢の解析～」
遠藤 維（国立研究開発法人産業技術総合研究所）
- P-04** 「乳児音声シグナルに対する反応－実験場面における養育経験者と養育未経験者のnIR-HEGの検討－」
竹中 和子（広島大学大学院医歯薬保健学研究科）
- P-05** 「家庭内事故防止のための乳幼児観察法」
渡部 基信（学研都市病院・同志社大学赤ちゃん学研究センター）
- P-06** 「母親の声かけと音楽に対する6－7カ月児の心拍・行動反応」
吉村 麻美（玉川大学大学院脳科学研究科）
- P-07** 「保育の「質」を支える音環境の快適化に向けて」
志村 洋子（同志社大学赤ちゃん学研究センター）
- P-08** 「NICU・GCUにおける病棟保育士の実態－数と業務内容の実態把握を目指して－」
石井 悠（東京大学大学院教育学研究科・日本学術振興会）
- P-09** 「保育における質の高いかわり・環境構成を支える要因～全国保育・幼児教育施設調査1歳児クラス担任票の分析から～」
高橋 翠（東京大学大学院教育学研究科）
- P-10** 「幼児の問題行動を捉える保育者の新たな視点が子ども理解を深め、関わり方を変える－保育者への介入実践から示唆された幼児への理解－」
足立 邦子（奈良保育学院）
- P-11** 「絵本検索システムの利用による母親の絵本探し行動の変化」
大竹 裕香（九州大学）
- P-12** 「保育の質に関する母親の意識－子どもと先生の関係と保護者の利便性－」
渡邊 直美（NTTコミュニケーション科学基礎研究所）
- P-13** 「おむつ交換中の乳幼児の動作量とおむつのはかせやすさ」
瀬尾加奈子（花王株式会社）
- P-14** 「対乳児動作と乳幼児の模倣行動の関係性」
長田かおり（東京大学大学院総合文化研究科・日本学術振興会）

- P-15** 「「困難に打ち勝つ力」は如何に育まれるか？－3歳児の微細運動能力評価を通して－」
石川 大晃（わくわく base 株式会社）
- P-16** 「多様なアプローチを行う親子教室「七田チャイルドアカデミー」における幼児期の発達の特徴」
浦谷 裕樹（株式会社七田チャイルドアカデミー 新未来教育科学研究所）
- P-17** 「社会的遊びへの遷移パターンの発達と誤信念の理解」
山口 将典（京都大学教育学研究科）
- P-18** 「発達に課題のある幼児期の子どもの親の養育レジリエンスを高める ートリプル P による介入ー」
江上千代美（福岡県立大学）
- P-19** 「赤ちゃんへの色彩知育法と、こどもの語彙力とコミュニケーション力の伸びについて」
齊藤 美雪（一般社団法人日本こども色彩協会）
- P-20** 「Influence of object name learning on actions in young children: A computational study」
長井 志江（情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター）
- P-21** 「調波複合音によるアクセント型の知覚非対称性の検討」
麦谷 綾子（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）
- P-22** 「乳児期の音声模倣における発話知覚と産出の関連」
今福 理博（東京大学大学院総合文化研究科）
- P-23** 「絵本における語の出現頻度と幼児語彙獲得の関連：大規模絵本コーパスを用いた心的状態語の頻度解析」
奥村 優子（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）
- P-24** 「育児語は子どもの言語発達に影響するか？」
小椋たみ子（大阪総合保育大学）
- P-25** 「瞳孔径変動に基づいた乳幼児期の語彙獲得過程の予備的検討」
秦 政寛（慶應義塾大学文学部、慶應義塾大学先導研究センター）
- P-26** 「育児語使用に着目した0－2歳児の母親の発話特徴の解析」
和泉絵里香（名古屋大学大学院情報科学研究科）
- P-27** 「語用論的解釈にワーキングメモリが及ぼす影響：幼児における指示対象付与と音韻ループの関連性に注目して」
孟 憲 巍（九州大学大学院人間環境学府）
- P-28** 「行為をあらわす言語表現：幼児期の発達の特徴を反映した「ゆらぎ」の探索的検討」
萩原 広道（京都大学）
- P-29** 「他者への意図帰属の手がかり"語彙"としての感嘆詞とその獲得」
宇土 裕亮（九州大学大学院 人間環境学府）

- P-30** 「眼球運動と微細運動の定量的評価による運動能力と言語能力の発達：12ヶ月～18ヶ月児の縦断的研究」
阿部 和大（慶應義塾大学大学院社会学研究科心理学専攻修士2年）
- P-31** 「ハイハイ動作獲得過程における上下肢動作の左右差について」
李 瑛熙（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）
- P-32** 「ハイハイ動作における上部体幹の左右差および経時的変化 ―ハイハイ動作分析基準を用いて―」
澤ノ井朱里（医療法人 光善会 長崎百合野病院）
- P-33** 「ハイハイ動作における下部体幹の左右差および経時的変化 ―ハイハイ動作分析基準を用いて―」
武藤 友恵（医療法人 光善会 長崎百合野病院）
- P-34** 「ハンドリガードのシミュレーションによる手の認識」
本間 高弘（電気通信大学 産学官連携センター）
- P-35** 「Predictive Coding を用いた運動主体感の獲得モデル」
森岡 智陽（東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻）
- P-36** 「早産児の早期睡眠発達の推移とその影響因子について」
阿部 莉子（久留米大学病院）
- P-37** 「新生児の生活場面における把握力の動向 ―乳幼児用握力計による検証―」
田口喜久恵（常葉大学 保育学部）
- P-38** 「妊娠中期以降の妊婦における夜間の胎動の推移」
田中 希実（九州大学大学院医学系学府保健学専攻助産学コース）
- P-39** 「Fidgety movements の観察評価と四肢自発運動特性 ―3次元動作解析装置を用いた検討―」
儀間 裕貴（鳥取大学地域学部附属子どもの発達・学習研究センター）
- P-40** 「画像処理による乳児の食行動と養育者の行動における相関分析」
小篠 裕子（慶應義塾大学理工学研究科）
- P-41** 「出生後30ヶ月における全身各部位の筋厚及び皮脂厚の縦断的变化」
尾崎 隼朗（順天堂大学 スポーツ健康科学部）
- P-42** 「小児がん患者における入院時と外泊時の睡眠状況」
堺 彩夏（信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部）
- P-43** 「入院中の小児がん患者における睡眠状態と身体活動量の特徴：第1報」
西川 良太（地方独立行政法人長野県立病院機構 長野県立こども病院 リハビリテーション技術科）
- P-44** 「Kinect を用いた自己顔認知の発達に関する実験支援システム touching!!の開発と評価」
椎野 綾菜（株式会社インテックソリューションパワー）

- P-45** 「2歳児の自己顔部位の認識～AR技術を用いた新課題 touching!!による検討」
宮崎美智子（大妻女子大学）
- P-46** 「入室面会がきょうだいに及ぼす影響 ～両親への聞き取り調査の分析～」
井上 舞（独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター）
- P-47** 「NICUにおける疼痛刺激を伴う処置と state の変化」
梅野 志帆（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻 助産師養成コース）
- P-48** 「当院における NIDCAP に基づいたケアおよびリハビリテーションアプローチを行った双胎症例」
藤本 智久（姫路赤十字病院 リハビリテーション科）
- P-49** 「自閉スペクトラム症における Resting-state fMRI 解析」
松田 佳尚（同志社大学 赤ちゃん学研究センター）
- P-50** 「正義の肯定③：乳児は正義の行為の意図を考慮できるのか？」
鹿子木康弘（NTT コミュニケーション科学基礎研究所・日本学術振興会）
- P-51** 「乳児の社会的相互作用における社会的信号への脳反応：アイコンタクトと随伴性反応」
白野 陽子（慶應義塾大学大学院社会学研究科）
- P-52** 「共同注意における三項関係の構成によって異なる選好」
石川 光彦（京都大学文学研究科）
- P-53** 「乳児は社会的対象に向けた他者の情動的評価を参照するのか？」
石 侑昇（京都大学大学院 文学研究科 行動文化学専攻 心理学専修）
- P-54** 「乳児期における視覚的自己への認知発達 -自己の類似顔を用いて-」
新田 博司（九州大学大学院人間環境学府）
- P-55** 「生態学的聴覚発達と音環境 -雑音下での選択的聴取の発達および保育の音環境評価の試み」
嶋田 容子（同志社大学赤ちゃん学研究センター）
- P-56** 「24か月児における援助行動と自他理解との関連」
大森 雅基（京都大学大学院文学研究科）
- P-57** 「因果応報的ストーリーへの期待とその発達 -幼児期・学童期に注目して-」
山手 秋穂（九州大学人間環境学府）
- P-58** 「見られているかどうかの社会的評価に及ぼす影響とその発達」
岸本 励季（京都大学大学院文学研究科・九州大学大学院人間環境学府・日本学術振興会）
- P-59** 「妊娠期/育児期の母親の喫煙と5歳児の行動・生活習慣」
下村 豪（久留米大学小児科）